

政策6 「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」は、犯罪等の予防、病気や事故への対応、食品の安全確保対策等が適切に実施され、だれもが安心して生活できる安全な社会環境の実現を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策6の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は44.4%、低認知度群は55.6%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性(45.0%)が女性(43.8%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(57.6%)が65歳未満(39.9%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域(49.8%)が、回答者全体と比較して5.4ポイント高い。

(%)

政策6 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.3	41.1	44.4	48.2	7.4	55.6	100.0

性別	男性	3.2	41.8	45.0	47.7	7.3	55.0	100.0
	女性	3.4	40.4	43.8	49.0	7.1	56.1	100.0
年齢別	65歳未満	2.3	37.6	39.9	52.0	8.1	60.1	100.0
	65歳以上	6.5	51.1	57.6	37.9	4.5	42.4	100.0

圏域別	仙台	1.9	41.6	43.5	47.8	8.6	56.4	100.0
	仙南	2.6	38.4	41.0	53.4	5.6	59.0	100.0
	大崎	2.6	47.2	49.8	41.0	9.2	50.2	100.0
	栗原	5.0	42.0	47.0	45.8	7.3	53.1	100.0
	登米	6.2	39.8	46.0	47.4	6.6	54.0	100.0
	石巻	3.8	37.2	41.0	53.6	5.5	59.1	100.0
	気山沼・本吉	1.6	41.6	43.2	49.0	7.8	56.8	100.0

有効回答者数 1,616 名

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は61.2%、低認知度群は38.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)が38.8ポイント、登米圏域(83.4%)が22.2ポイント高い。

石巻圏域(54.5%)が、回答者全体と比較して6.7ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は66.6%、低認知度群は33.3%である。

(%)

政策6 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.0	55.2	61.2	36.7	2.2	38.9	100.0	
圏 域 別	仙台	5.5	51.4	56.9	39.4	3.7	43.1	100.0
	仙南	9.1	49.1	58.2	40.0	1.8	41.8	100.0
	大崎	6.7	54.7	61.4	37.3	1.3	38.6	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	16.7	66.7	83.4	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	4.5	50.0	54.5	40.9	4.5	45.4	100.0
	気山沼・本吉	0.0	62.9	62.9	37.1	0.0	37.1	100.0

有効回答者数 319 名

学識者等全体	7.9	58.7	66.6	33.3	0.0	33.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 63 名

2. 政策6の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は94.0%、低関心度群は6.0%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(94.5%)が男性(93.5%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(96.8%)が65歳未満(93.1%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策6 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	42.5	51.5	94.0	5.0	1.0	6.0	100.0

性別	男性	42.6	50.9	93.5	5.2	1.3	6.5	100.0
	女性	41.7	52.8	94.5	4.9	0.6	5.5	100.0
年齢別	65歳未満	36.4	56.7	93.1	5.9	1.0	6.9	100.0
	65歳以上	58.4	38.4	96.8	2.6	0.7	3.3	100.0

圏域別	仙台	47.2	47.7	94.9	4.2	0.9	5.1	100.0
	仙南	42.5	54.6	97.1	2.1	0.8	2.9	100.0
	大崎	46.6	48.3	94.9	4.3	0.9	5.2	100.0
	栗原	47.4	48.1	95.5	3.3	1.1	4.4	100.0
	登米	37.6	54.4	92.0	7.5	0.4	7.9	100.0
	石巻	33.9	57.0	90.9	8.1	1.1	9.2	100.0
	気山沼・本吉	38.2	54.2	92.4	6.4	1.2	7.6	100.0

有効回答者数 1,669 名

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は94.9%、低関心度群は5.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)、登米圏域(100.0%)、石巻圏域(100.0%)
では共に5.1ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は95.4%、低関心度群は4.5%である。

(%)

政策6 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	36.7	58.2	94.9	4.8	0.3	5.1	100.0	
圏 域 別	仙台	32.2	61.7	93.9	5.2	0.9	6.1	100.0
	仙南	33.9	60.7	94.6	5.4	0.0	5.4	100.0
	大崎	40.3	53.2	93.5	6.5	0.0	6.5	100.0
	栗原	42.9	57.1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	66.7	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	39.1	60.9	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	気山沼・本吉	28.6	68.6	97.2	2.9	0.0	2.9	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	53.0	42.4	95.4	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 6 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.2%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 82.5 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 22.5 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.9%と推定できる。

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.9	(93.1)
満足度 60点未満の割合		51.1
要検討領域にある回答者全体の割合		44.2

有効回答者数；重視度 1,660人、満足度 1,633人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	1660	1633
	欠損値	61	88
平均値		80.40	54.84
平均値の標準誤差		.372	.429
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.154	17.321
分散		229.631	300.005
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.9	(96.1)
満足度 60点未満の割合		44.4
要検討領域にある回答者全体の割合		40.5

有効回答者数；重視度 334人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	334	331
	欠損値	4	7
平均値		80.31	56.57
平均値の標準誤差		.687	.888
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50 ^a
標準偏差		12.555	16.151
分散		157.634	260.858
範囲		60	95
最小値		40	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	82.5	60.0	22.5
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	4.5	(95.5)
満足度 60点未満の割合		42.4
要検討領域にある回答者全体の割合		37.9

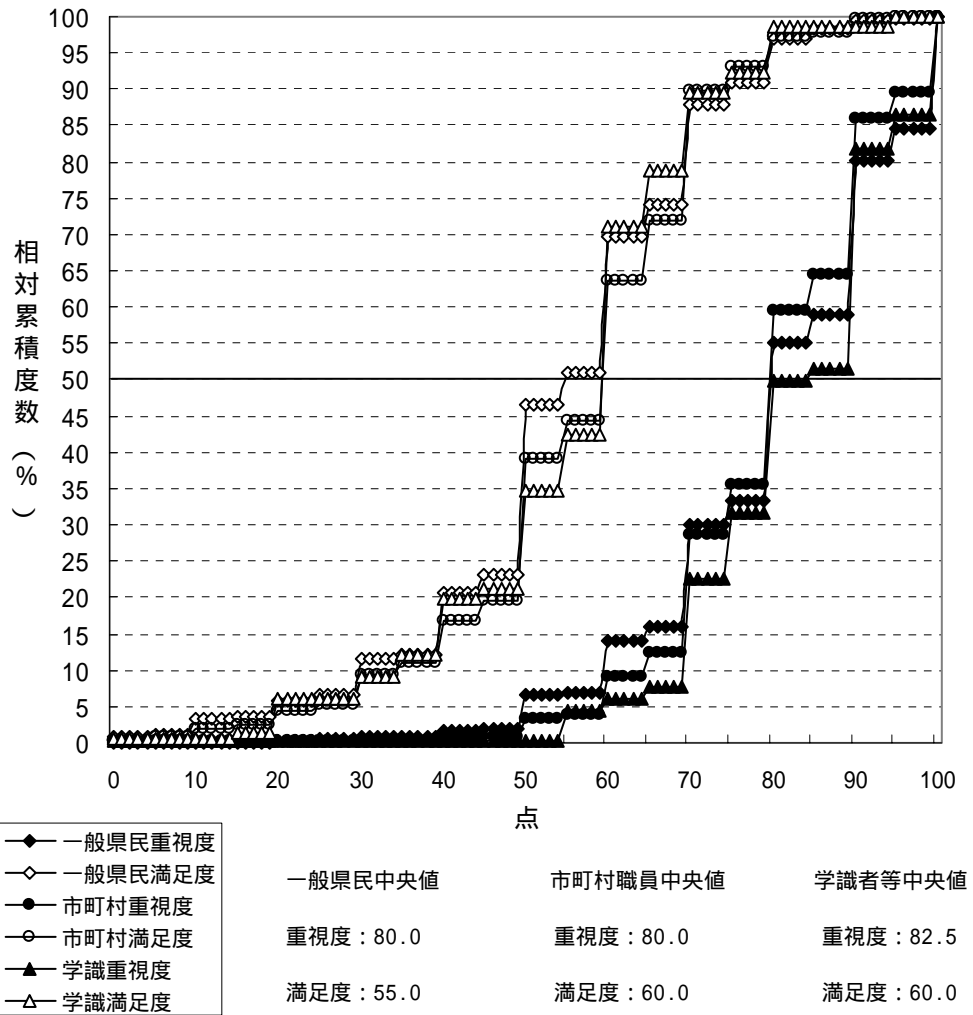
有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		82.88	55.98
平均値の標準誤差		1.480	1.941
中央値		82.50	60.00
最頻値		90	60
標準偏差		12.028	15.768
分散		144.662	248.631
範囲		45	80
最小値		55	15
最大値		100	95
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	82.50	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

「政策6 県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性（60.0 点）が男性（55.0 点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（25.0 点）が女性（20.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(11.3 点)が女性(10.0 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 45.4%、女性 42.7%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

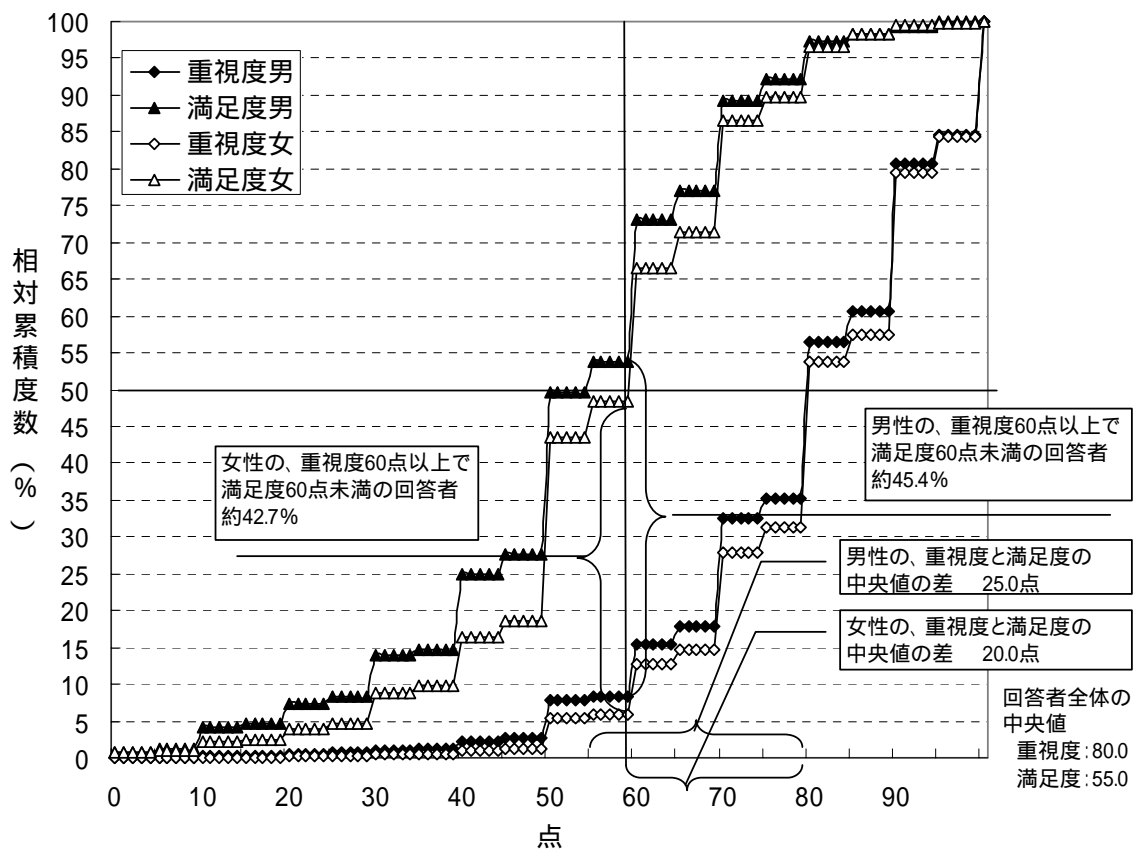
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	42.5	50.0
	かい離	20.0	27.5	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	11.3	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	8.3	(91.7)	5.8	(94.2)
満足度 60 点未満の割合	53.7		48.5	
要検討領域にある回答者全体の割合	45.4		42.7	

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	783	769
	欠損値	20	34
平均値		79.55	53.14
平均値の標準誤差		.570	.647
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.943	17.951
分散		254.174	322.254
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	42.50
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	858	846
	欠損値	38	50
平均値		81.16	56.54
平均値の標準誤差		.493	.566
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.441	16.468
分散		208.543	271.198
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（55.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（25.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（7.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 46.4%、65 歳以上 36.7%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

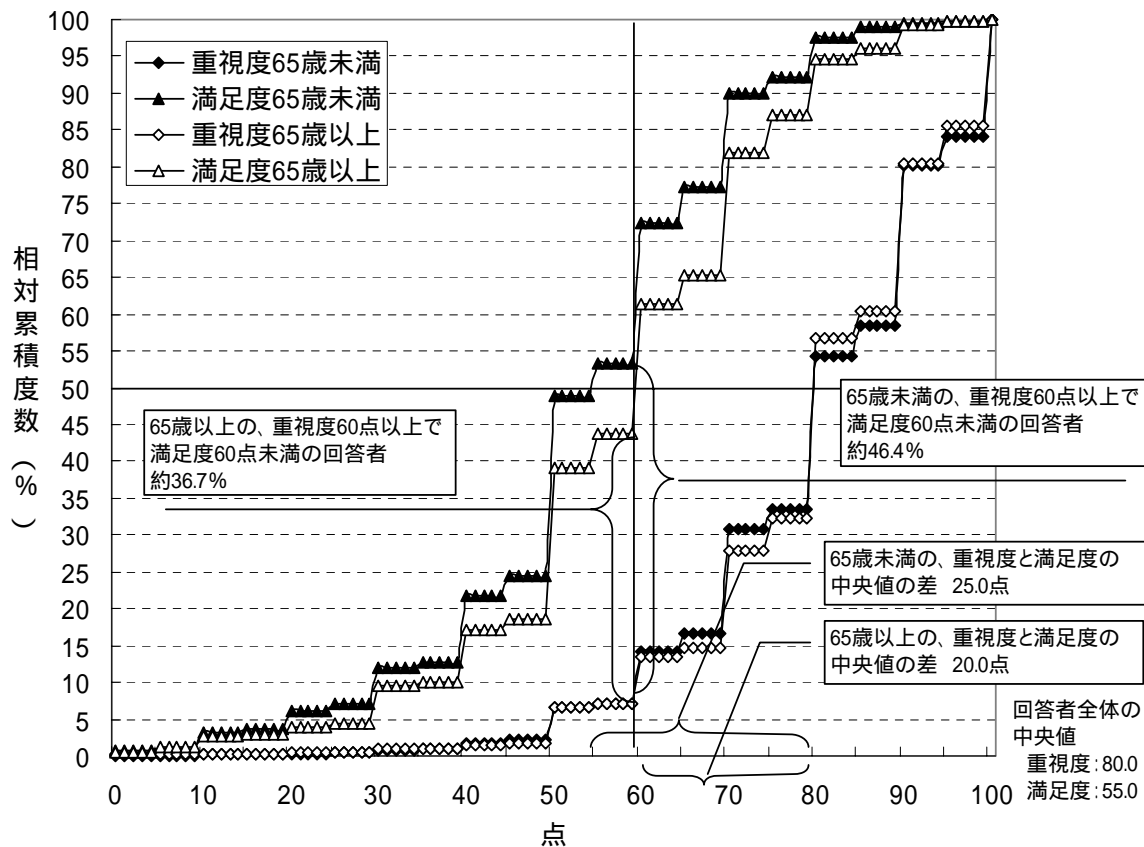
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	7.5	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	7.0 (93.)	7.1 (92.9)
満足度 60 点未満の割合	53.4	43.8
要検討領域にある回答者全体の割合	46.4	36.7

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	1215	1202
	欠損値	25	38
平均値		80.36	53.86
平均値の標準誤差		.440	.492
中央値		80.00	55.00
最頻値		90	50
標準偏差		15.326	17.052
分散		234.877	290.759
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	424	411
	欠損値	33	46
平均値		80.45	58.04
平均値の標準誤差		.720	.867
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.821	17.579
分散		219.657	309.020
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別（一般県民、市町村職員）

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体（80.0点）と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域（60.0点）、登米圏域（60.0点）の2圏域が回答者全体（55.0点）よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域（12.5点）が回答者全体（10.0点）よりも大きく、石巻圏域（7.5点）、気仙沼・本吉圏域（7.5点）の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域（87.5点）が回答者全体（80.0点）よりも7.5ポイント高い。

満足度の中央値は、仙南圏域（52.5点）が7.5ポイント、登米圏域（55.0点）が5ポイント回答者全体（60.0点）よりも低い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域（8.8点）、石巻圏域（7.5点）の2圏域が回答者全体（10.0点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域（15.0点）、石巻圏域（15.0点）の2圏域が回答者全体（10.0点）よりも大きく、仙南圏域（7.5点）、登米圏域（7.5点）の2圏域が小さい。

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	82.5	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	52.5	60.0	55.0	60.0	55.0	55.0
	かい離	25.0	27.5	27.5	20.0	25.0	20.0	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	40.0	45.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	30.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	65.0	70.0	70.0	70.0	65.0	65.0
	かい離	20.0	25.0	25.0	20.0	20.0	20.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	7.5

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	87.5	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	52.5	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	27.5	20.0	20.0	32.5	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	76.3	75.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	40.0	50.0	40.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	30.0	26.3	35.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	93.8	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	60.0	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	30.0	20.0	20.0	28.8	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	8.8	7.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5	10.0	15.0	7.5	15.0	10.0

4. 政策 6 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2「犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」(52.5%)である。

第 2 位は施策 6「生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実」(17.6%)である。

第 3 位は施策 1「救急搬送体制の整備」(9.6%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2「犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」(58.3%)である。

第 2 位は施策 1「救急搬送体制の整備」(14.1%)である。

第 3 位は施策 4「食品や水道水などの安全確保」(10.8%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 2「犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」(68.7%)である。

第 2 位は施策 4「食品や水道水などの安全確保」(11.9%)である。

第 3 位は施策 1「救急搬送体制の整備」(6.0%)である。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では政策 1「救急搬送体制の整備」、女性では政策 4「食品や水道水などの安全確保」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 1「救急搬送体制の整備」、65 歳以上では施策 3「事故のない安全で快適な交通社会の実現」である。

圏域別

一般県民では、

圏域別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、仙南、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1「救急搬送体制の

政策 6 「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

整備」、仙台、大崎の 2 圏域では施策 4 「食品や水道水などの安全確保」である。

市町村職員では、

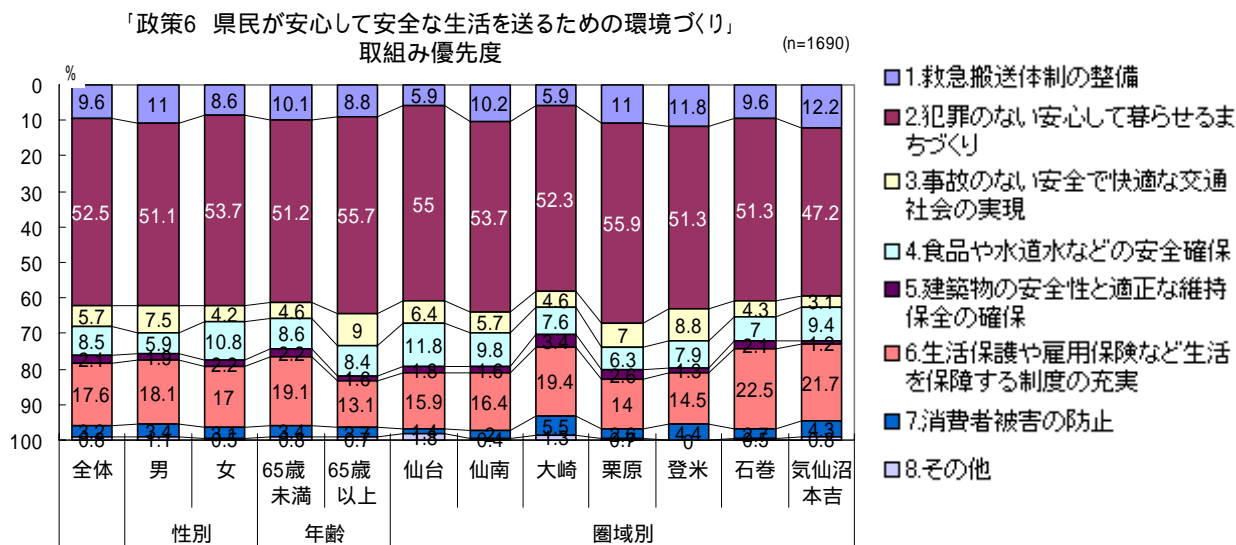
第 1 位は、全圏域とも施策 2 「犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「救急搬送体制の整備」、栗原、石巻の 2 圏域では施策 3 「事故のない安全で快適な交通社会の実現」、栗原圏域では施策 6 「生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実」と施策 8 「その他」、石巻圏域では施策 4 「食品や水道水などの安全確保」である（栗原圏域では施策 3 と施策 6 と施策 8、石巻圏域では施策 1 と施策 3 と施策 4 が共に第 2 位になっている）。

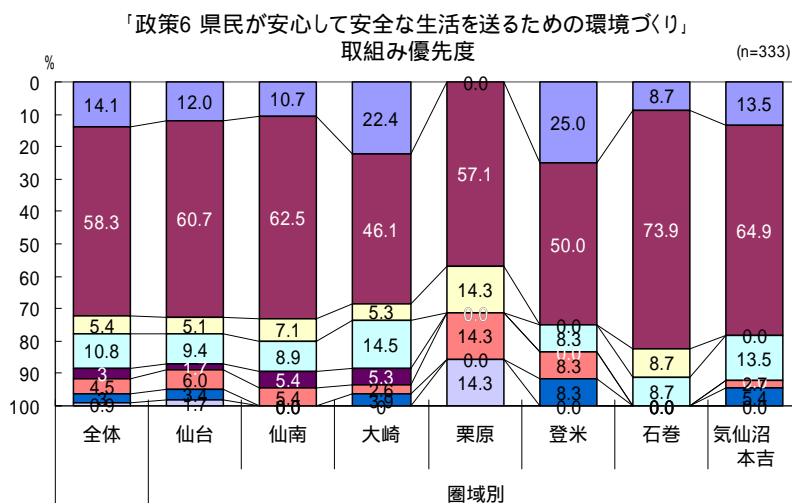
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「食品や水道水などの安全確保」、登米圏域では施策 6 「生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実」である（登米圏域では施策 4 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

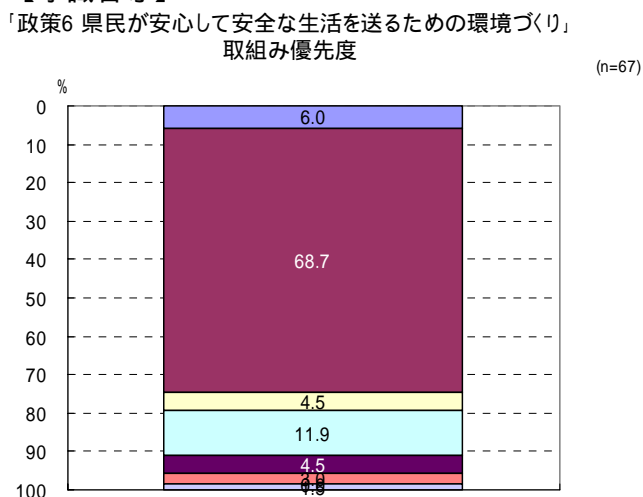
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.救急搬送体制の整備	9.6	11.0	8.6	10.1	8.8	5.9	10.2	5.9	11.0	11.8	9.6	12.2
2	2.犯罪のない安心して暮らせるまちづくり	52.5	51.1	53.7	51.2	55.7	55.0	53.7	52.3	55.9	51.3	51.3	47.2
3	3.事故のない安全で快適な交通社会の実現	5.7	7.5	4.2	4.6	9.0	6.4	5.7	4.6	7.0	8.8	4.3	3.1
4	4.食品や水道水などの安全確保	8.5	5.9	10.8	8.6	8.4	11.8	9.8	7.6	6.3	7.9	7.0	9.4
5	5.建築物の安全性と適正な維持保全の確保	2.1	1.9	2.2	2.2	1.6	1.8	1.6	3.4	2.6	1.3	2.1	1.2
6	6.生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実	17.6	18.1	17.0	19.1	13.1	15.9	16.4	19.4	14.0	14.5	22.5	21.7
7	7.消費者被害の防止	3.2	3.4	3.1	3.4	2.7	1.4	2.0	5.5	2.6	4.4	2.7	4.3
8	8.その他	0.8	1.1	0.5	0.8	0.7	1.8	0.4	1.3	0.7	0.0	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.救急搬送体制の整備	14.1	12.0	10.7	22.4	0.0	25.0	8.7	13.5
2	2.犯罪のない安心して暮らせるまちづくり	58.3	60.7	62.5	46.1	57.1	50.0	73.9	64.9
3	3.事故のない安全で快適な交通社会の実現	5.4	5.1	7.1	5.3	14.3	0.0	8.7	0.0
4	4.食品や水道水などの安全確保	10.8	9.4	8.9	14.5	0.0	8.3	8.7	13.5
5	5.建築物の安全性と適正な維持保全の確保	3.0	1.7	5.4	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6	6.生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実	4.5	6.0	5.4	2.6	14.3	8.3	0.0	2.7
7	7.消費者被害の防止	3.0	3.4	0.0	3.9	0.0	8.3	0.0	5.4
8	8.その他	0.9	1.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.救急搬送体制の整備	6.0
2	2.犯罪のない安心して暮らせるまちづくり	68.7
3	3.事故のない安全で快適な交通社会の実現	4.5
4	4.食品や水道水などの安全確保	11.9
5	5.建築物の安全性と適正な維持保全の確保	4.5
6	6.生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実	3.0
7	7.消費者被害の防止	0.0
8	8.その他	1.5

政策 6 「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」